

# 濁度センサ タービマックスCUS52D

飲用水、プロセス水、ユーティリティ濁度測定用のサニタリ仕様メモセンスセンサ



## 利点:

- ラボクラスの測定品質：低濁度においても精度と信頼性の高い水品質の監視が可能
- 製造ロスのない濁度測定：サニタリ仕様のインライン測定のためプロセス中の水は一切失われません。
- 自動運転：インテリジェントな設計と実用的なアクセサリにより高度な自己洗浄機能を実現しメンテナンスを削減
- 検査および校正が容易：ホルマジンなどの校正用液を使用しないため安全性を保障
- 高い柔軟性と容易な操作性：1つのセンサですべての測定点およびすべての設置環境に対応（インラインまたは浸漬）
- プロセス制御の向上：個別に調整可能なセンサ応答時間
- 迅速な立ち上がり：工場校正およびメモセンステクノロジーによりプラグ&プレイでプロセスに適合可能

詳細情報と現在の価格は以下をご覧ください:

[www.jp.endress.com/CUS52D](http://www.jp.endress.com/CUS52D)

## 仕様一覧

- **測定範囲** 0.000 ~ 4000 FNU
- **プロセス温度** ステンレスバージョン：-20~+85 °C (0~185 °F) プラスチックバージョン：-20~+60 °C (-4~+140 °F)
- **プロセス圧力** ステンレスバージョン：絶対圧50 kPa~1 MPa (絶対圧7.3~145 psi) プラスチックバージョン：絶対圧50~600 kPa (絶対圧7.3~87 psi)

**アプリケーション:** Turbimax CUS52Dは、ラボの精度を備えたスマートセンサーであり、飲料水製造や淡水、プロセス水、塩水を使用する他の多くのアプリケーションで、すべての濁度測定ポイントを無人で操作できます。配管に直接取り付けられることができるため、大がかりなバイパス設備が不要となり、製造ロスを防止できます。Memosens デジタルテクノロジーにより、Turbimax CUS52Dは最大限

のプロセスとデータの整合性、シンプルな操作を提供し、予知メンテナンスを可能にします。

## 機能と仕様

### 濁度

#### 測定原理

1ビーム散乱光

#### アプリケーション

以下の濁度測定が可能：

飲用水およびプロセス水

塩水

あらゆる産業のユーティリティ水

#### 取付

インライン、クランプ付きセンサ、フローセル、クランプ付きセンサ、リトラクタブル、センサストレート、開水路に浸漬

#### 測定範囲

0.000 ~ 4000 FNU

#### 測定原理

90度錯乱光方式による濁度測定、ISO7027に準拠

#### 構造

40 mm センサ

#### 材質

ステンレスバージョン：1.4404

プラスチックバージョン：センサヘッド：PEEK、シャフト：PPS

光学窓：サファイア

Oリング：EPDM

#### 外形寸法

40 mm、サニタリ仕様クランプ

320 x 40 mm

## 濁度

## プロセス温度

ステンレスバージョン：-20～+85 °C (0～185 °F)

プラスチックバージョン：-20～+60 °C (-4～+140 °F)

## プロセス圧力

ステンレスバージョン：絶対圧50 kPa～1 MPa

(絶対圧7.3～145 psi)

プラスチックバージョン：絶対圧50～600 kPa

(絶対圧7.3～87 psi)

## 温度センサ

ステンレスバージョン：-20～+85 °C

(0～185 °F)

プラスチックバージョン：-20～+60 °C

(-4～+140 °F)

## 保護等級

IP68

## 出力 / 通信

Memosens

## 追加認証

ISO 7027

詳細情報 [www.jp.endress.com/CUS52D](http://www.jp.endress.com/CUS52D)